

St. Luke's International University Repository

2003年度聖路加看護学会評議員会議事録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/707

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



第1回（2003年度）

聖路加看護学会 評議員会議事録

- 日 時：2002年9月26日(金) 17:30～19:00
- 場 所：聖路加看護大学 506 共同研究室
- 出席者（敬称略）：菱沼、中山、有森、奥宮、小田、萱間、紅林、小松、佐藤、田代、野地、中村、田中
(事務局：松谷 書記：田村)

1. 開 会

評議員数 28名中、出席者名 13名、委任状 7名で合計 20名となり、会則により過半数以上となったため、開催する。

2. 理事長挨拶（菱沼理事長）

指名理事として、庶務担当に亀井理事、桃井理事および松谷理事が承認された。

3. 報告

1) 2003年度理事会報告（松谷）

学会理事会は計7回開催され、事業内容の検討、入退会者の承認等が行われた。

2) 2003年度庶務報告（松谷）

会員数 564名、本年度入会者 34名、退会者 17名となっている。第8回学術大会の開催、学会誌の発送、ニュースレターの発送、学術交流会の開催、学会のホームページ（3,260件アクセスがあった）、日本学術会議への学術研究団体の登録（第19期会員候補者について、予防医学ならびに地域医学の2領域を申請登録）を行なった。

3) 学会誌編集委員会報告（小松）

編集は5回実施された。査読ガイドラインを作成し、査読を行った。学会誌の発行投稿は11件あった。6月23日付の学会誌では、計5編掲載された。継続の査読が2件あった。他の学会に報告したほうがよいものが4題あった。その他、博士課程の概念分析を送ってきているのが新しい傾向である。若手の研究者も増加。経費削減を目指して、印刷業者の見直しを行い変更している。

4) ニュースレター委員会（田代）

年2回、第12号、13号の発行が済んでいる。学術大会の報告、新理事の紹介、学術交流の内容、委員会の企画を3回行っている。ニュースレターは、会員の中の交流、各種の会合などで配布し学外への広報として、情報を提供している。

・学術交流委員会（松谷）

学術交流委員会の参加者は23名であった。内容は参加者の満足が得られた。

学術交流委員会は3回行われた。次年度は「電

子カルテの光と影」シンポジウム形式で行われる予定である。

5) 第8回学術大会の準備状況（中山）

大きな問題もなく、福島県立大学、岩手大学、国立の協力を得てすすめている。

4. 議事

1) 2003年度会計報告・会計監査報告（中山）

承認された

2) 2004年度事業計画案（菱沼）

以下の事業計画案が提示され、承認された

(1) 第9回学術大会の開催

(2) 学術誌第8巻の発行

(3) ニュースレターの発行

(4) 会員相互の学術的交流

(5) 会員の拡充

3) 2004年度予算案（中山）

2004年度の予算案の説明後承認された。

特別会計 200,000円を選挙のために計上した。会計監査よりご指摘頂き、コンピューターやアルバイトなどの予算も追加したほうがよいとの意見がだされた。

一人の学会費が5000円では限界ではないかという意見がだされている。が、繰越金を使って成り立っている現状であり、運営できるだけの会費徴収が必要ではないかという意見がだされている。学会役員選挙が全国区になり、旅費がかかるようになってきている。庶務としては、会誌、ニュースレター発行時、会費の徴収に全力をあげていきたい。

予算案は承認された。

4) 第9回学術大会会長の承認（菱沼）

平野かよ子氏を選出することが承認された。

5) 第10回学術大会会長の推薦（菱沼）

当学会に当初より携わって下さっている小澤道子氏を推薦することで承認された。

6) その他（菱沼）

常葉前学長の逝去に伴い、第12条第2項に従い、新評議員を評議員会で推薦、決定することになっている。評議員会で決定する。2003年度から2005年9月までの任期を引き継いでいただく。理事会では、小澤道子氏を推薦し、ご本人の了解が得られたため、明日の学術大会総会で承認していただく。

5. 第9回学術大会会長の挨拶

平野かよ子氏（国立保健医療科学院）

テーマは現在検討中である。

6. その他

追悼文について

ニュースレターに欄を設ける予定である。
編集委員会では話されていないが今後検討していく。

学会誌に1ページ掲載しているところもある。

認定書について

今年度からCNSなどの講習会参加のためにも、
認定書を作成した。

そこに掲載するロゴを検討中である。ロゴは公募していく。

6. 閉会